

よくわかる あいちの 農林水産業



2025

目 次

1	食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして	1
2	県内各地域の農林水産業	2
3	農業の概要	4
4	米・小麦・大豆	7
5	野菜	8
6	果樹・茶	10
7	花き	12
8	畜産	14
9	農業用水	16
10	林業	18
11	水産業	20
12	農林水産業の多面的機能	22
13	あいちの農林水産業を応援しよう	23
14	参考資料	24

用語の説明

農業産出額	年内に生産された各農産物の生産量（自家消費を含む）から、種子・飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の庭先価格を乗じ、都道府県を単位として推計したもの
農業経営体	農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、経営耕地面積が30a以上の規模の農業を行うもの等
個人経営体	個人（世帯）で事業を行う経営体。なお、法人化して事業を行う経営体は含まない
団体経営体	個人経営体以外の経営体
基幹的農業従事者	農業就業人口のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者
農家	経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上あった世帯
販売農家	経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家
自給的農家	経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家
林家	保有する山林（用材、薪炭材、竹材など林産物を生育させるために用いる土地）の面積が1ha以上の世帯
林業従事者	年間30日以上林業、労働（伐木搬出、造林、保育、間伐、育苗、しいたけ等特用林産物生産）に従事した者
素材生産量	林内または山元土場において素材（丸太）生産された材積（m ³ ）をいう
林業産出額	1年間の総生産額から固定資本減耗を差し引き、さらに生産・輸入品に課せられる税からの補助金を控除した額を差し引いた要素所得の額
海面漁業経営体	漁業及び養殖業を含む。調査期日前1年間に利潤又は生活の資を得るため販売を目的として水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所
内水面漁業経営体	調査期日前1年間に内水面主要魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）について、利潤又は生活の資を得るために販売を目的として計画的かつ持続的に投餌または施肥を行い、養殖用または放流用種苗の養成した世帯及び事業所
漁業就業者	海面漁業及び養殖業を含む。調査期日現在満15歳以上で、過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者

1 食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして

私たちの暮らしは、農林水産業の適切な営みによってもたらされる安全で良質な食料等の供給と、森林、農地、海及び川が有する県土や自然環境の保全、水源の涵養、洪水の防止などの多面的機能によって支えられています。

これらの機能を一層発揮させ、安全で安心できる豊かな暮らしづくりを進めるため、愛知県では「食と緑の基本計画」を5年毎に策定し、食と緑に関する様々な取組を進めています。

「食と緑の基本計画2025」がめざす姿と目標



	めざす姿	目 標 ()内は現状値
生産現場	持続的に発展する 農林水産業の実現	農業産出額 3,150億円 (3,115億円 2014-2018平均)
		県産木材生産量 18.0万m ³ (13.9万m ³ 2019年)
		漁業産出額 410億円 (390億円 2014-2018平均)
暮らし	農林水産の恵みを 共有する社会の実現	県産農林水産物を優先して購入したい県民の割合 25.0% (15.4% 2020年)
		農山村地域の防災・減災面積 5年間で6,500ha

施策体系と主な取組

愛知県では、「食と緑の基本計画2025」がめざす2つの姿の実現に向けて、農業者や県民の皆さんと協働・連携して以下の取組を進めています。

食と緑が支える県民の豊かな暮らし

持続的に発展する農林水産業の実現

- (1) 意欲ある人材の確保・育成
 - ア 農業を支える多様な人材の確保・育成
 - イ 林業を支える担い手の確保・育成
 - ウ 水産業を支える担い手の確保・育成
- (2) 生産性の高い農林水産業の基盤を作る取組の充実
 - ア 新技術・新品種の開発と普及
 - イ 農林水産業を支える生産基盤の整備と環境づくり
 - ウ 産地の体制や生産設備の強化
 - エ 食の安全・安心の確保
- (3) 新たな需要を創造し持続可能な農林水産業の実現
 - ア マーケット・インの視点に立った生産・流通の改善
 - イ 農林水産物等に関する国内外での需要の開拓
 - ウ 環境との調和に配慮した持続可能な農林水産業

農林水産の恵みを共有する社会の実現

- (1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進
 - ア 県産農林水産物への理解を深める取組の推進
 - イ あいちの農林漁業を応援・体験し参加する機会の提供
 - ウ 幅広い世代に対する食育の推進
- (2) 災害に強く安全で快適な環境の確保
 - ア 農山漁村の強靱化に向けた防災・減災対策
 - イ 快適な生活環境の確保
 - ウ 暮らしを支える森林・農地・漁場の整備・保全
- (3) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山漁村の実現
 - ア 地域の特性に応じた農山漁村の活性化
 - イ 多面的機能の持続的な発揮につながる活動の推進

2 県内各地域の農林水産業

愛知県では、多様な自然条件や名古屋市など大消費地が近いという地理的条件を生かし、それぞれの地域で特色ある農林水産業が営まれています。

右の地図に示した愛知県を代表する品目については、7ページ以降に詳しく紹介します。

名古屋・尾張地域

木曽川によってもたらされた肥沃な土壌を生かし、古くから野菜の栽培が盛んです。

市街化が進んでいますが、都市近郊の産地としての特性を生かし、野菜や果樹、花きで多種多様な品目が生産されています。

また、特産のぎんなん、名古屋コーチンが有名です。

海部地域

木曽川のデルタ地帯に位置し、豊かな水と肥沃な土壌に恵まれた平坦な地域です。

この地域は、米の出荷が県内で最も早く、8月中旬から始まります。

また、弥富市を始めとする3市1村は、江戸時代からの長い歴史を持つ、全国有数のきんぎょの産地です。

知多地域

1961年に愛知用水が通水し、農業が飛躍的に発展しました。現在では、乳用牛、肉用牛や鶏などの畜産が大変盛んです。

農業ではふきなどの野菜、みかん・ぶどうなどの果樹、洋らんなどの花き栽培も盛んです。

西三河地域

愛知県のほぼ中央に位置し、気候は温暖で交通の便が良く、古くから各種の産業が発展してきました。矢作川を水源とする明治用水などの水利に恵まれ、米や小麦、大豆、てん茶などの栽培が盛んですが、施設園芸も発展し、いちじくや洋らん、カーネーションなどが有名です。また、西尾市は全国有数の養殖うなぎの産地です。

旧額田町地域では人工林が多く、優良な県産木材が供給されています。



豊田加茂地域

米や小麦、大豆に加え、てん茶も盛んです。
東部山間地域は、矢作川上流部の重要な水源地域であるとともに、優良な県産木材が供給されています。

新城設楽地域

面積の87%を森林が占め、スギやヒノキを中心とした豊かな森林資源が形成され、優良な県産木材が供給されています。
農地面積は4%と少ないですが、畜産が盛んです。また、夏期の冷涼な気候を生かして生産されるシクラメンも有名です。

野菜

キャベツ
トマト
しそ
いちご
ブロッコリー
なす
ふぎ
とうがん
れんこん



米・小麦・大豆

米
小麦
大豆



花き

きく
洋らん
観葉植物
ばら
カーネーション
花き苗類
シクラメン



果樹・茶

みかん
ぶどう
かき
筆柿
なし
いちじく
もも
ぎんなん
てん茶
せん茶



畜産

豚
鶏
乳用牛
肉用牛
うずら卵
名古屋コーチン



水産物

あさり
しらす
くるまえび
養殖うなぎ
ぎんぎょ
がざみ



東三河地域

温暖な気候と豊川用水の恩恵に加え、交通網の整備等により、全国屈指の農業地域を形成しています。キャベツ、しそ、きく、ばら、うずら卵などの全国有数の産地です。

特に、ビニールハウスやガラス温室による野菜や花きの施設栽培が盛んです。生しいたけなどの特用林産物の生産も盛んに行われています。

伊勢湾・三河湾・渥美外海

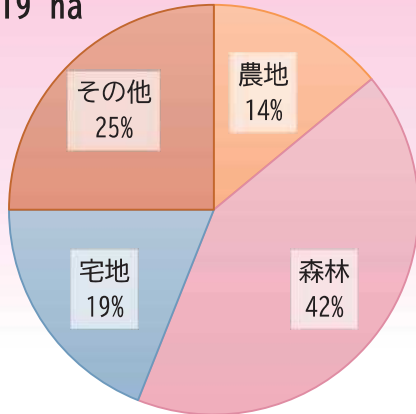
伊勢湾・三河湾は、木曽川、矢作川、豊川など大きな河川から栄養がもたらされ、河口付近に広がる干潟には多様な生物が生息しています。また、渥美外海に広がる大陸棚も豊かな漁場を形成しています。

全国一の漁獲量であるあさり類を始め、全国上位を占める魚種が多く、沿岸域を中心に特色ある水産業が営まれています。

3 農業の概要

土地利用の状況

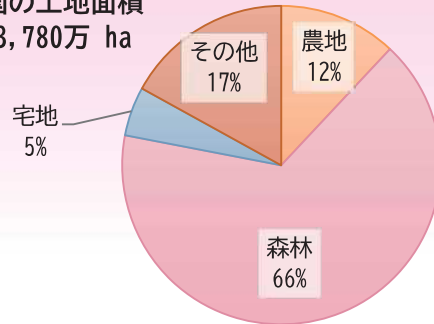
愛知県の土地面積
51万7,019 ha



出典：愛知県 土地に関する統計年報
(データは2022年)

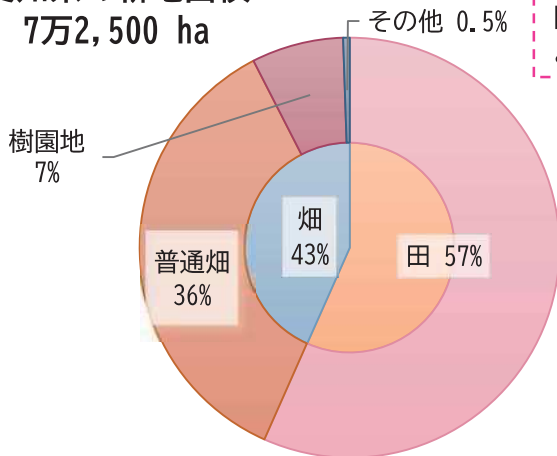
愛知県の面積は全国で27番目の広さです。
宅地の割合は全国を上回っていますが、濃尾平野などの平坦な土地が広がり、農地の割合は全国と同規模となっています。

全国の土地面積
約3,780万 ha



出典：国土交通省 土地に関する動向
(データは2020年)

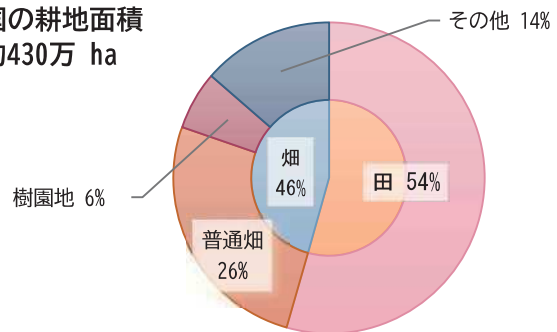
愛知県の耕地面積
7万2,500 ha



出典：農林水産省 作物統計
(データは2023年)

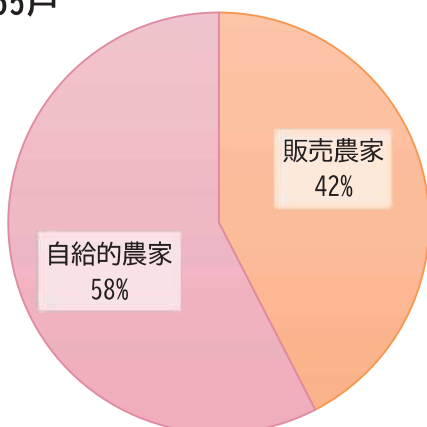
愛知県の耕地面積は全国で17番目の広さです。
田と畑の割合は全国とほぼ同じです。耕地面積は、農地転用等による宅地化等によって、年々減少しています。

全国の耕地面積
約430万 ha



農家の状況

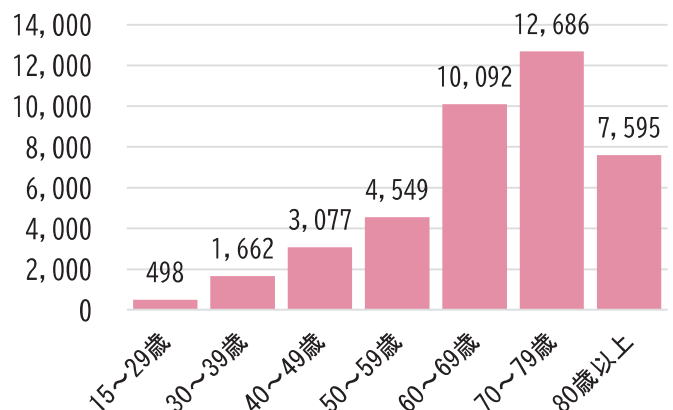
愛知県の農家数
6万1,055戸



出典：農林水産省 2020年農林業センサス

愛知県の農家数は全国6位です。
しかし、農業従事者の半数以上が65歳以上で占められており、高齢化が進んでいます。

基幹的農業従事者の構成 (人)



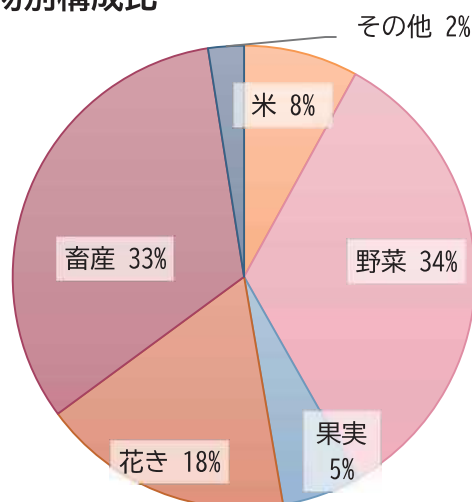
農業産出額の状況（2023年）

愛知県は製造業が盛んですが、農業も産出額全国8位であり、農業と工業がバランスよく発展しています。

農業産出額の上位都道府県

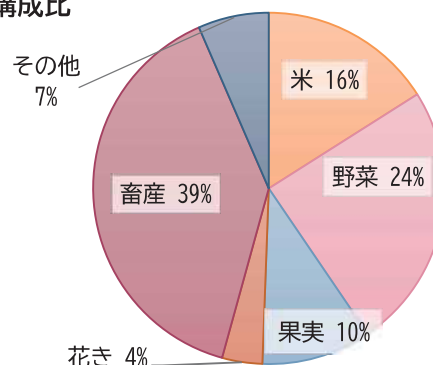
順位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2023年 農業産出額(億円)
1	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	13,478
2	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	5,438
3	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	4,571
4	千葉	千葉	千葉	宮崎	千葉	千葉	4,029
5	宮崎	宮崎	熊本	熊本	熊本	熊本	3,757
6	熊本	熊本	宮崎	千葉	宮崎	宮崎	3,720
7	青森	青森	青森	青森	青森	青森	3,466
8	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	3,207
9	栃木	栃木	栃木	栃木	栃木	岩手	2,975
10	岩手	岩手	岩手	岩手	長野	栃木	2,959

愛知県の農業産出額 3,207億円 作物別構成比



作物別構成比を全国の状況と比較すると、野菜や花きの産出額の割合が高くなっています。特に渥美半島のさくらの電照栽培に代表されるように、ビニールハウスなどを利用した施設園芸が盛んです。

全国の農業産出額 9兆4,987億円 作物別構成比



作物別産出額の上位都道府県

順位	米	麦類	野菜	果実	花き	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	鶏卵
1	新潟	北海道	北海道	青森	愛知	北海道	北海道	鹿児島	鹿児島	千葉
2	北海道	栃木	茨城	長野	千葉	鹿児島	栃木	北海道	岩手	茨城
3	秋田	福岡	熊本	山梨	福岡	宮崎	熊本	宮崎	宮崎	鹿児島
4	山形	佐賀	千葉	和歌山	静岡	熊本	群馬	千葉	千葉	岡山
5	宮城	群馬	愛知	山形	茨城	宮城	岩手	群馬	岡山	広島
6	茨城	愛知	長野	愛媛	長野	栃木	千葉	茨城	茨城	愛知
7	福島	埼玉	群馬	熊本	埼玉	長崎	茨城	岩手	青森	栃木
8	栃木	三重	埼玉	福島	鹿児島	岩手	愛知	青森	北海道	群馬
9	千葉	茨城	栃木	静岡	熊本	茨城	岡山	愛知	兵庫	兵庫
10	岩手	岡山	福岡	岡山	北海道	兵庫	宮城	栃木	愛知	静岡
愛知県	21位	6位	5位	13位	1位	18位	8位	9位	10位	6位

愛知県の主な野菜・果物の出荷カレンダー

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
野菜	キャベツ											
	トマト											
	しそ											
	いちご											
	なす											
	ふき											
	とうがん											
	れんこん											
果実	露地みかん											
	ハウスみかん											
	ぶどう											
	かき											
	なし											
	いちじく											
	もも											
	ぎんなん											

■ 出荷量の多い時期 ■ 少ないが出荷がある時期 □ 出荷がない時期

愛知県のブランド農林水産物

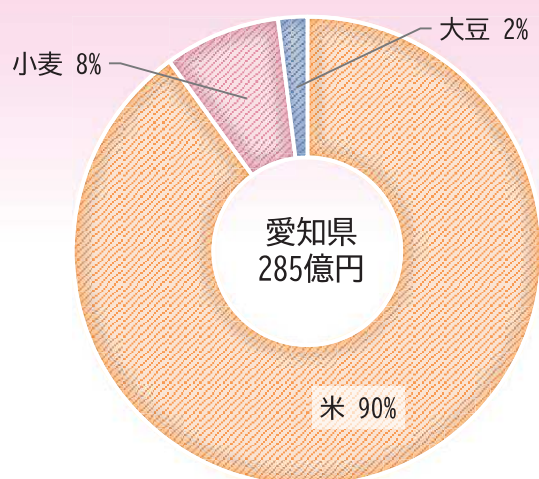
愛ひとつづ (米) 猛暑の年でも見た目がつやつやで美しく、上品な甘みともっちりとした食感のおいしいお米。 愛ひとつづwebページ→	きぬあかり (小麦) おいしくてきれいな麺ができる、うどん・きしめん用の小麦。 きぬあかりwebページ	ゆめあかり (小麦) ふんわりとしたおいしいパンができる、パン・中華麺用の小麦。 ゆめあかりwebページ	愛きらり (いちご) 大きくてツヤがあり、しっかりと甘さがある。果皮も果肉も赤く、果形が整っている。 愛きらりwebページ
夕焼け姫 (カンキツ) 夕焼けのような鮮やかな赤橙色の見た目が特徴。甘みが強いことに加え、皮がむきやすく食べやすい。 夕焼け姫webページ→	あいみずき (日本なし) 甘みが際立ち、果汁たっぷりでみずみずしい。シャリっとした食感も兼ね備える。	みかわ牛 (牛肉) 愛知県内の認定農場で育てられた黒毛和種のうち、肉質4等級以上の厳選された上質な牛肉。	葵うなぎ (うなぎ) 大きくて、ふっくらと柔らかく、脂ののりが良い、資源に優しいうなぎ。

4 米・小麦・大豆

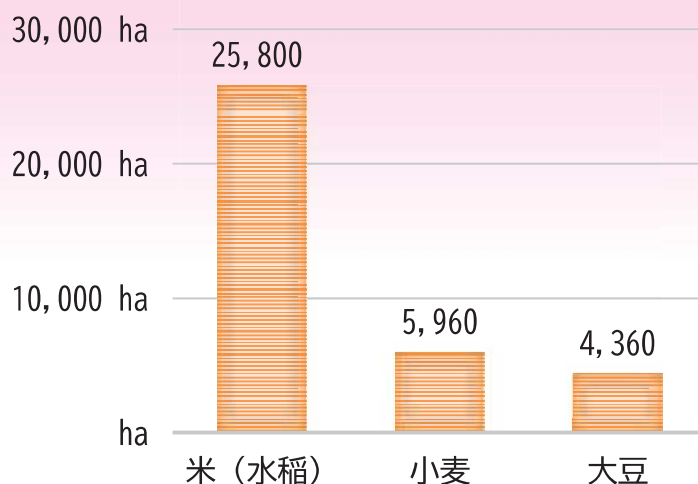
愛知県では、粒が大きく良食味の「あいちのかおり」や、おいしい米の代表である「コシヒカリ」、中山間地で主に栽培される「ミネアサヒ」など特徴ある米が栽培されています。また、県の農業総合試験場が開発した、夏の暑さに強く、良食味の品種「なつきらり」のうち、厳格な品質基準を満たした米が、ブランド米「愛ひとつづ」として販売されています。

米については、需要に応じた生産が行われており、これに対応するため、西三河地域を中心に、米・小麦・大豆を一定の順序で栽培する輪作が定着しています。

米・小麦・大豆の産出額構成比



米・小麦・大豆の作付面積



米

産出額 21位



- ・産出額 257億円
- ・全国シェア 1.7%
- ・作付面積 25,800ha
- ・主な生産地
豊田市 西尾市 安城市

本県の米は、作期の異なる品種を組み合わせたり、直接種もみをまく直播栽培を導入したりして、作業分散や省力化が図られています。

また、もっちりとして、甘みのあるブランド米「愛ひとつづ」の生産拡大及び認知度向上に取り組んでいます。

小麦

産出額 4位



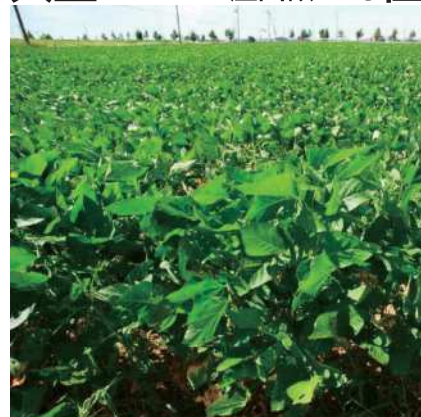
- ・産出額 22億円
- ・全国シェア 3.8%
- ・作付面積 5,960ha
- ・主な生産地
西尾市 安城市 豊田市

本県の小麦の作付面積の約8割を占める「きぬあかり」は愛知県が開発した日本麺用の品種で、うどん、きしめん等に使用され、高い評価を得ています。

また、近年、パン・中華麺用の品種「ゆめあかり」の生産が増加しています。

大豆

産出額 13位



- ・産出額 6億円
- ・全国シェア 1.7%
- ・作付面積 4,360ha
- ・主な生産地
西尾市 安城市 岡崎市

本県の大豆は、麦の後作として西三河地域を中心に水田で、大規模かつ省力的に栽培されています。

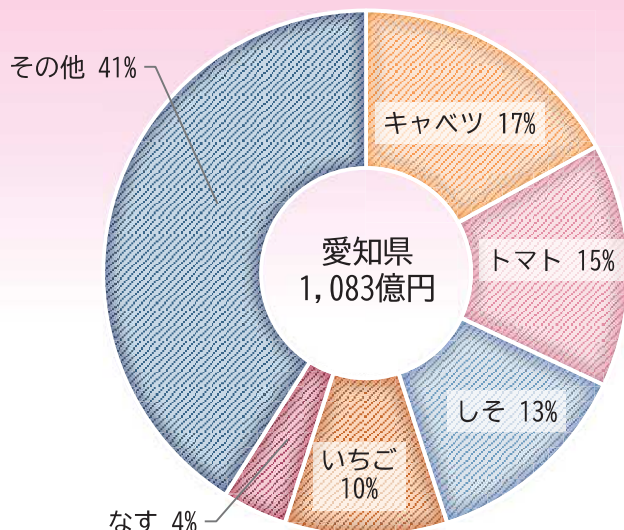
栽培品種の「フクユタカA1号」は、タンパク質含量が高く、豆腐などの原料として評価を得ています。

5 野菜

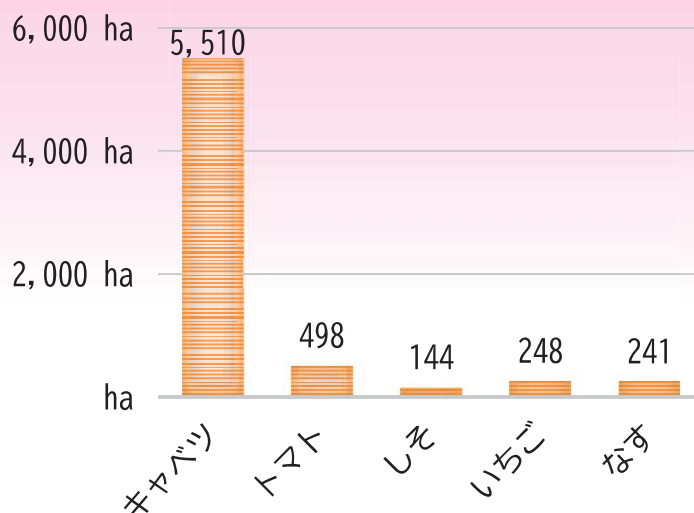
愛知県は、温暖な気候と大消費地が近いという立地条件に恵まれて、秋冬野菜を中心とした、全国屈指の野菜産地となっています。

また、多くの野菜がガラス温室やビニールハウスなどの施設で栽培されています。

野菜の品目別産出額構成比



野菜の作付面積



キャベツ 出荷量 1位



- ・産出額 189億円
- ・全国シェア 18.9%
- ・作付面積 5,510ha
- ・主な生産地
田原市 豊橋市

愛知県のキャベツ生産の歴史は、全国で最も古く、明治中期に名古屋市近郊で始まりました。

その後、豊川用水の通水を契機として、東三河地域でも生産されるようになり、現在では、出荷量全国1位の大産地となっています。

トマト 産出額 3位



- ・産出額 161億円
- ・全国シェア 7.0%
- ・作付面積 498ha
- ・主な生産地
豊橋市 田原市 豊川市
設楽町(あいさか2号の産地)

大玉やミニを中心に、ICTを活用した環境制御技術の導入による生産性の向上と高品質化を進め、出荷量・産出額共に全国3位となっています。特産品として「ファーストトマト」や「あいさか2号(商品名:ルネッサンス)」を栽培しています。

しそ 産出額 1位



- ・産出額 139億円
- ・全国シェア 72.0%
- ・作付面積 144ha
- ・主な生産地
豊橋市 豊川市 田原市

しそは、青じそ・赤じそに大別されます。青じそは大葉ともいわれます。

愛知県では、青じその生産が盛んで、豊橋市などでは50年以上前から栽培されており、全国一の産地となっています。

いちご 産出額 6位



- ・産出額 112億円
- ・全国シェア 5.5%
- ・作付面積 248ha
- ・主な生産地
豊橋市 西尾市 豊川市

愛知県では、県とJAあいち経済連が共同開発した「愛きらり」や県が開発した「ゆめのか」の他、「章姫」「紅ほっぺ」「とちおとめ」が主に栽培されています。「愛きらり」はブランド化を進めています。

なす 産出額 5位



- ・産出額 39億円
- ・全国シェア 4.7%
- ・作付面積 241ha
- ・主な生産地
豊橋市 岡崎市 幸田町

愛知県では、県と農研機構が開発した授粉が不要で、へたにトゲがない「とげなし輝楽」が普及しています。
2021年に漬物加工にも向く新品種「試交17-22」（現在「とげなし豊両」で品種登録出願中）を開発しました。

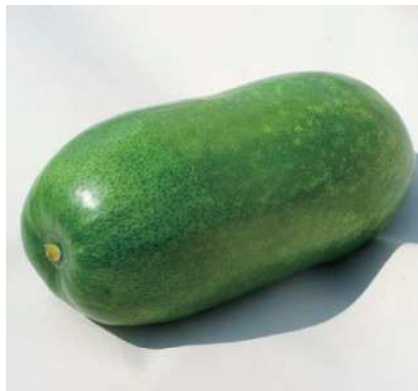
ふき 産出額 1位



- ・産出額 9億円
- ・全国シェア 37.5%
- ・作付面積 52ha
- ・主な生産地
東海市 知多市 愛西市

知多半島を中心に明治時代から「愛知早生ふき」が栽培されており、全国に広まってきました。
愛知県のふきはやわらかく食べやすいのが特徴です。

とうがん 産出額 2位



- ・産出額 2億円
- ・全国シェア 20.0%
- ・作付面積 15ha
- ・主な生産地
豊橋市 東海市

沖縄から導入された「琉球とうがん」の全国有数の産地である一方、県内には古くから「早生とうがん」という在来品種があり、2002年には「あいちの伝統野菜」に選定されました。

れんこん 産出額 6位



- ・産出額 8億円
- ・全国シェア 4.2%
- ・作付面積 215ha
- ・主な生産地
愛西市

愛知県のれんこんは、木曽川の低湿地に位置する愛西市で、露地とハウス栽培を組み合わせ、一年中出荷しています。
新鮮さを保つ工夫として、泥のついた状態で出荷しています。

あいちの伝統野菜

愛知県は古くから野菜づくりが盛んで、昔ながらの美味しい伝統野菜がたくさんあります。
愛知県では、こうした野菜を「あいちの伝統野菜」として選定し、生産振興や消費拡大の取組を進めています。



↑土田かぼちゃ



徳重だいこん→

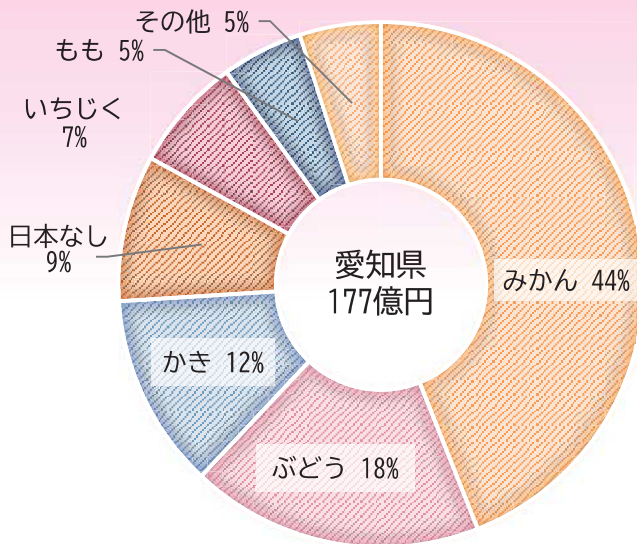
2023年には清須市の「土田（つちだ）かぼちゃ」と名古屋市緑区の「徳重（とくしげ）だいこん」を追加で選定しました。2024年現在、「あいちの伝統野菜」には37品目の野菜が選定されています。

6 果樹・茶

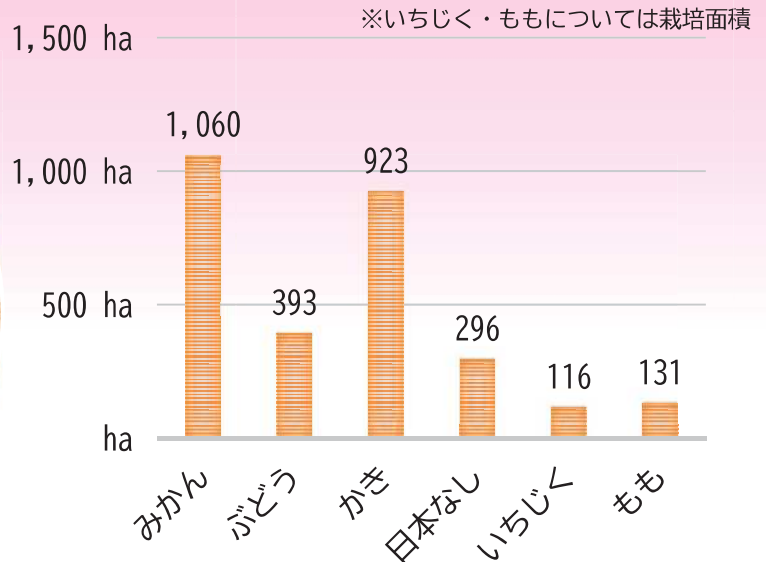
愛知県の果樹の生産は、みかんを始めとするカンキツ類に加え、ぶどう、かき、日本なし、いちじくなど多くの種類の果実が栽培されているのが特徴です。

県内に数多くの特色ある産地が形成され、地域の農業の重要な地位を占めています。

果樹の品目別産出額構成比



果樹の品目別結果樹面積



みかん 産出額 7位



- ・産出額 77億円
- ・全国シェア 4.4%
- ・結果樹面積 1,060ha
- ・主な生産地
蒲郡市 東海市 南知多町

愛知県はハウスみかんの全国有数の産地です。

蒲郡市の「蒲郡温室みかん」、美浜町を中心とした「みはまっこ」が有名です。

愛知県のオリジナル品種であるカンキツ「夕焼け姫」のブランド化も進めています。

ぶどう 産出額 11位



- ・産出額 31億円
- ・全国シェア 1.5%
- ・結果樹面積 393ha
- ・主な生産地
東浦町 大府市 東海市

全国的に最も栽培面積の多い「巨峰」の種なし栽培技術を初めて確立したのは愛知県です。

県内各地にぶどうの直売所や観光ぶどう狩り園があり、シーズンになると多くのお客さんと賑わいます。

かき 産出額 6位



- ・産出額 22億円
- ・全国シェア 4.7%
- ・結果樹面積 923ha
- ・主な生産地
豊橋市 幸田町 新城市

愛知県の主産地は豊橋市で、「次郎柿」という品種が中心となっており、深くコクのある甘みとしっかりした歯ごたえが特徴です。

また、幸田町では、形が筆の穂に似ている「筆柿」が特産となっています。

日本なし 産出額 15位



- ・産出額 16億円
- ・全国シェア 2.2%
- ・結果樹面積 296ha
- ・主な生産地
安城市 豊橋市 豊田市

愛知県では、「幸水」やジャンボ梨の「愛宕(あたご)」、県が開発した「歓月(かんげつ)」などが栽培されています。また、県と国が共同開発した「あいみずき」のブランド化が進められています。

いちじく 産出額 1位



- ・産出額 13億円
- ・全国シェア 18.8%
- ・栽培面積 116ha
- ・主な生産地
安城市 豊田市 常滑市

いちじくは県内各地で栽培され、全国有数の産地となっています。1985年から低温流通システムが導入され、新鮮でよく熟したおいしいいちじくが食卓へ届けられています。

もも 産出額 9位



- ・産出額 9億円
- ・全国シェア 1.3%
- ・栽培面積 131ha
- ・主な生産地
豊田市 小牧市 春日井市

愛知県では、果肉が柔らかく、みずみずしい「白鳳(はくほう)」が最も多く栽培されており、7月中旬から下旬にかけて出回ります。

ぎんなん 産出額 1位



- ・産出額 3億円
- ・全国シェア 37.5%
- ・栽培面積 61ha
- ・主な生産地
稲沢市

ぎんなんは、稲沢市祖父江町一帯で、古くから、強風を防いだり、火災時の延焼を防ぐ目的で植えられていました。町内には樹齢100年を超える大木があちこちにあり、晩秋には黄金色に染まった美しい風景が広がります。

茶 産出額 7位



- ・産出額 14億円
- ・全国シェア 1.9%
- ・栽培面積 253ha
- ・主な生産地
西尾市 新城市 豊田市

西尾市、豊田市で主に「てん茶(抹茶の原料)」、新城市、豊橋市、田原市で主に「せん茶(お茶)」が生産されています。愛知県は、せん茶よりてん茶の生産量が多い全国有数のてん茶の産地です。

ウンシュウミカンの 新品種開発



加温ハウス向けウンシュウミカンの新品種「C系統」を蒲郡市農業協同組合との共同研究で開発しました(2024年7月品種登録出願)。「C系統」は、既存品種の「宮川早生」より10日ほど着色が早くて果皮色が良好です。また、糖度、酸含量ともに「宮川早生」よりやや高く、食味の良い品種です。この新品種の導入によって、秀品率が向上し、生産者の収益性向上が期待されます。

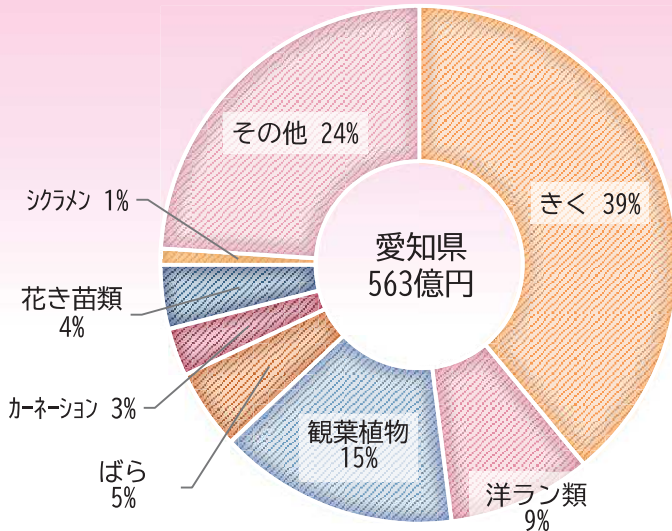
産出額は「生産農業所得統計(2023年)」、作付面積は「作物統計調査(2023年)」(農林水産省)などより。
(ただし、主な生産地は「農業の動き(2024年)」などより。いちじく及びぎんなんの栽培面積は2021年値、ももの栽培面積は2020年値。
茶の栽培面積は全国茶生産団体連合会調査(2023年)。)

7 花き

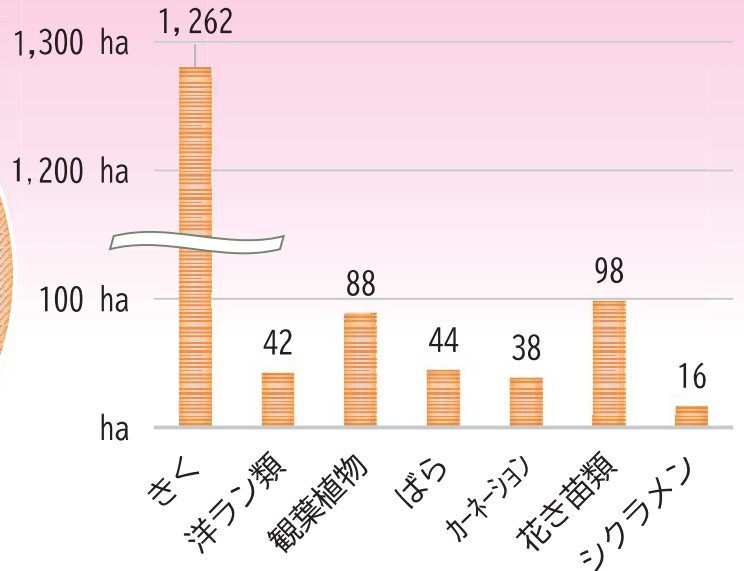
愛知県の花きの生産は、品目別では、きくの割合が最も多く、全国有数の産地となっています。

また、洋ラン類、観葉植物、ばら、シクラメンなどの生産も盛んです。愛知県では、多くの花きがガラス温室やビニールハウスなどの施設で栽培されています。

花きの品目別産出額構成比



花きの品目別作付（収穫）面積



きく(切花) 産出額 1 位



- ・産出額 218億円
- ・全国シェア 36.8%
- ・作付面積 1,262ha
- ・主な生産地
田原市 豊川市

夜に光を当てることで開花時期を調整する電照栽培は、愛知県で開発され、全国に広く普及しています。

輪ぎくを満開咲で出荷するフルブルームマムなど、新たな需要の開拓にも力を入れています。

洋ラン類(鉢) 産出額 1 位



- ・産出額 48億円
- ・全国シェア 13.6%
- ・収穫面積 42ha
- ・主な生産地
豊橋市 西尾市 東海市

愛知県ではシンビジウム、ファレノプシス(コチョウラン)、デンドロビウムなど多くの種類が栽培されています。

洋ランは、いろいろな花の中でも日持ちがよく、管理も比較的容易であり、自宅で飾るのにとても適しています。

観葉植物 産出額 1 位



- ・産出額 82億円
- ・全国シェア 43.9%
- ・収穫面積 88ha
- ・主な生産地
田原市 西尾市 岡崎市

観葉植物とは、葉を觀賞して楽しむ植物のうち、通常は屋外で越冬しないもの(熱帯・亜熱帯産の植物)を言います。

様々な種類があり、エキゾチックな美しい葉が魅力で、最近では、小さい鉢物やミニ観葉植物などの家庭用の需要が増えてきています。

ばら 産出額 1 位



- ・産出額 27億円
- ・全国シェア 16.6%
- ・作付面積 44ha
- ・主な生産地
豊川市 田原市 西尾市

愛知県のばら生産は、東三河地域を中心に全国一の産出額を誇っています。2021年には香りが良くトゲが極めて少ない白系ばら「アモールサベル」が、愛知県で開発されました。

カーネーション(切花) 産出額 2 位



- ・産出額 18億円
- ・全国シェア 17.6%
- ・作付面積 38ha
- ・主な生産地
西尾市 田原市 碧南市

カーネーションの生産は母の日に向けてピークを迎えます。2021年に開発された「カーネフジ愛農1号」は、鮮やかな濃いピンク色と日持ちの良さが特徴です。

花き苗類 産出額 3 位



- ・産出額 21億円
- ・全国シェア 6.3%
- ・作付面積 98ha
- ・主な生産地
一宮市 稲沢市 西尾市

花壇用としてガーデニングブームを背景に生産が増え、全国有数の産出額を誇っています。一年を通じて、非常に多くの種類が出回ります。

シクラメン 産出額 1 位



- ・産出額 7億円
- ・全国シェア 10.1%
- ・収穫面積 16ha
- ・主な生産地
豊川市 安城市 田原市

シクラメンは冬の室内を華やかに飾る代表的な花です。日によく当て、傷んだ花は早めに摘み取るなど、こまめに手をかければ、桜の咲く頃まで花を楽しむことができます。

花の王国あいち

愛知県は、花き産出額において1962年以降62年連続で日本一を誇る「花の王国あいち」であり、2023年の花き産出額は563億円と、第2位の千葉県の2倍以上となっています。

順位	都道府県名	産出額	全国シェア
1	愛知県	563億円	16.0%
2	千葉県	200億円	5.7%
3	福岡県	188億円	5.3%
4	静岡県	179億円	5.1%
5	茨城県	165億円	4.7%



愛知県では、県民の皆さんに「花の王国あいち」を知っていただくため、シンボルマークを作成し、花きの生産・流通・小売等の関係団体と連携しながらPR活動を進めています。

「花の王国あいち」のWebページでは、あいちの花にまつわる小話や「あいち花マルシェ」などのイベント情報も掲載しています。ぜひチェックしてみてください。



↑2024年に開催した「あいち花マルシェ」の様子



←「花の王国あいち」Webページはこちら